

# 住宅用火災警報器は命の見張り番

## Q&A

住宅用火災警報器ってどんなもの？

火災の煙や熱を感知して警報する機器です。

## Q&A

なぜ、住宅用火災警報器が必要ななの？

火災で亡くなった方のうち、約6割が逃げ遅れです。住宅用火災警報器の音や光で逃げ遅れをなくすためです。

## Q&A

どんな種類があるの？

感知方式

**煙式**  
火災をより早期に発見できる。

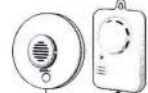
**熱式**  
煙式に比べ発見が遅い。調理の煙などで発報しない。

設置場所

天井取付け用

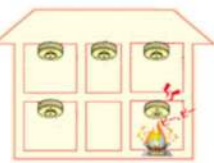


壁掛け用

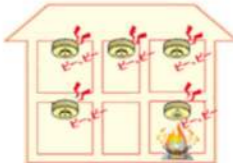


動作方式

**単独型**  
1台の警報器が単独で警報を發します。



**連動型**  
複数の警報器が連動して警報を發します。



**寝室 義務**  
普段の就寝に使われる部屋に設置します。

**階段 義務**  
避難階(1階)以外に寝室がある場合は、階段に設置します。

**オススメ**  
安心・安全のためにも義務がない場所にも取り付けるように努めましょう。

**台所 義務**  
調理時の煙や水蒸気のかからない位置に設置します。  
※火災警報付きのガス漏れ警報器が設置されている場合は、新たに設置の必要はありません。

## Q&A

どこに設置すればいいの？

寝室や台所、そのほかにも、条件により階段や廊下に設置が必要です。右側の早見表を参考にしてください。

## Q&A

熱式と煙式、どちらを設置すればいいの？

佐用町では、火災予防条例により、煙式を設置することとなっています。

## 警報器設置例早見表

S : 煙式

\*共同住宅については1階建てを参照  
(メゾネットタイプは、2階建て、3階建てを参照)

1階建て

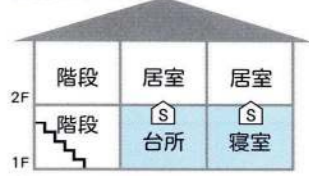


●寝室:2Fのみ



2階建て

●寝室:1Fのみ

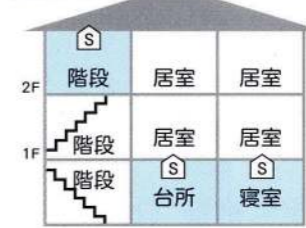


●寝室:1F・2F



3階建て

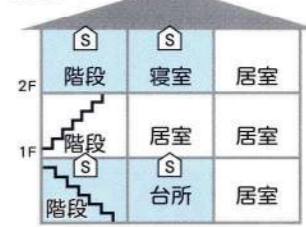
●寝室:1Fのみ



●寝室:2Fのみ



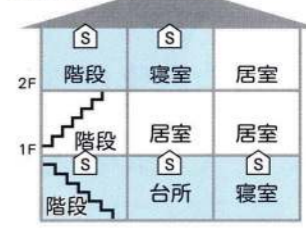
●寝室:3Fのみ



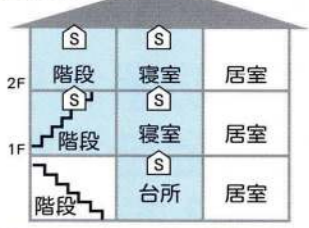
●寝室:1F・2F



●寝室:1F・3F



●寝室:2F・3F



●寝室:1F・2F・3F



警報器を設置する必要がなかった階で居室(7㎡以上)が5室以上ある場合

